

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第610号（平成28年1月20日発行）

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 平成27年度リサイクルポートセミナーを開催（1月15日）
2. 汚染土壌事業化PT 次回WG開催のお知らせ
3. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 北開局が港湾の包括的災害協定、道内管理者・関係団体と
2. 防災学術連携体が設立、47学協会が集結
3. 神奈川県、石油コンビナート等防災計画を修正

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 平成27年度リサイクルポートセミナーを開催（1月15日）

平成28年1月15日（金）に、第一ホテル東京シーフォートにおいて「平成27年度リサイクルポートセミナー」を開催しました。概要につきましては添付ファイル1をご参照ください。

2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

（時間が通常より30分繰り上げてますのでお気を付け下さい）

記

日時：平成28年1月28日（木）

13：00～14：00 WG②、⑥

14：00～15：00 WG③・④

15：00～16：00 WG①

場所：みなと総研 3階 会議室

3. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ

当協議会会員のNPO法人庄内リサイクル産業情報センターより、日本海側のリサイクルポート・能代港、酒田港、姫川港、堺港を紹介をするメールマガジン2016年1月号が発行されましたのでご紹介します。詳細は添付ファイル2をご覧ください。

なお、毎月15日に配信されており、本RPPCメルマガにも定期的に掲載しております。

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 北開局が港湾の包括的災害協定、道内管理者・関係団体と

北海道開発局、道内港湾管理者（31 者）、港湾関係団体（7 者）は1月14日、「災害発生時における港湾施設等の緊急的な応急対策業務に関する包括的協定」を締結した。東日本大震災の教訓などを踏まえ、大規模災害が発生した際、必要な人員や資機材を確保し、被災施設の早期復旧を図ることを目指して協力していく。

港湾管理者が異なる複数の港湾にわたる広域的な災害の場合、北海道開発局や港湾管理者が個々に港湾関係団体等に復旧に係る協力要請を行うため、情報が錯綜することが懸念されていた。今回締結した協定では、北開局が港湾関係団体の協力要請等を整理し、広域的見地から重要性、緊急性を判断して適切かつ計画的な資機材や人員の配置を行うなど、必要な調整を行うこととしている。これにより、円滑かつ迅速な復旧が期待される。

協定を結んだ関係団体は日本埋立浚渫協会北海道支部、北海道港湾空港建設協会、日本海上起重技術協会北海道支部、全国浚渫業協会北海道支部、日本潜水協会、海洋調査協会、港湾技術コンサルタント協会の7者。

同様の協定はこれまで四国地方整備局管内、九州地方整備局管内でも締結されている。

【港湾空港タイムス】

2. 防災学術連携体が設立、47 学協会が集結

日本学術会議と防災・減災や災害復興に関わる47学協会が集結した学会ネットワーク「防災学術連携体」が1月9日設立された。自然災害全般を対象とし、平常時から相互理解と連携を図るとともに、緊急時に学会間の緊密な連携が取れるよう備える。

同連携体では土木学会、地盤工学会、日本コンクリート工学会等が参画。日本学術会議とともに毎年1回学会が集まるシンポジウムを開催し、学会間の連携促進を図るほか、政府・自治体・関係機関との連絡網の構築を図っていく。また学会間の交流を進め、総合的な視点を持つ若手・中堅研究者の育成等も進めていく。

9日には東京都港区の日本学術会議で設立総会を開催したのち、設立記念シンポジウムを開催。開会にあたり挨拶した大西日本学術会議会長は、防災対策は専門分野の枠を超え、総合的・持続的に取り組む必要があるとし、「優れた研究者等が横に繋がり、災害の防止、災害復興に役立つことに期待している。また学術研究の成果を政府の政策と連携させ、災害が起こりにくく、一旦起こっても被害が小さく復興がスムーズに行われる社会システムが構築できるよう頑張っていきたい」と語った。

【港湾空港タイムス】

3. 神奈川県、石油コンビナート等防災計画を修正

神奈川県は、神奈川県石油コンビナート等防災計画を修正する。修正素案への県民意見を今月22日まで募集し、2月の県議会防災警察常任委員会へ修正案を報告、3月の神奈川県石油コンビナート等防災本部会議で審議、決定する。

25～26年度で実施した神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査の結果を反映させるとともに、25年に国が改訂した防災アセスメント調査のための指針に基づき想定した5

類型の災害（①平常時の事故、②強震動、③長周期地震動、④津波、⑤大規模災害）に対する予防対策等の充実を目的に、神奈川県コンビナート等防災計画を修正する。

修正素案による想定災害とその予防対策等の充実は次の通り。（▽想定災害＝①対策の考え方、②主な予防対策等の内容（※は追加・修正箇所）

▽平常時の事故＝①爆発火災の発生確率と災害影響度を下げるとの対策を充実強化、②※高圧ガス配管の保温材下等の外面腐食対策の実施、屋外タンク側板の重点点検の実施、フェイルセーフ設計による緊急停止装置等保安設備の整備、緊急停止のマニュアルの整備、※防災監視システムの整備による事故の早期検知、※周辺住民に対する適切な情報発信とリスクの理解促進。

▽地震（強震動）による被害＝①爆発火災の発生確率と災害影響度を下げるとの対策を充実強化、②危険物施設の耐震改修の早期実施、※既存の高圧ガス施設の耐震性向上、建築物の地震に対する安全性の確保・向上、地盤の液状化の詳細判定と地盤改良や構造物の設計強化、※液状化した際の応急復旧資機材としての土嚢等の準備。

▽地震（長周期地震動）による被害＝①浮き屋根式タンク等のスロッシングの発生抑制に係る対策を充実強化、②特定屋根タンクの液面高さの適切な管理、浮き屋根式特定屋外タンクの耐震改修の早期実施、※内部浮き蓋式特定タンクの基準適合及び耐震改修の早期実施、※防災監視システムの整備による特定屋外タンクのスロッシングの早期検知。

▽津波による被害＝①浸水被害、流出物対策を充実強化、②設備の緊急停止のための措置の実施、化学消防自動車・予備動力源等の保安用設備の機能の確保、容器（ボンベ）等の流出防止措置の実施、※禁水性物質の浸水対策の実施、※係留船舶の安全対策の実施。

▽大規模災害による被害＝①避難計画の見直し等のソフト対策を充実強化、②※防災訓練の実施、※周辺住民が円滑な避難行動がとれる情報提供、※避難計画の見直し。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 部会長：徳田 英司 | 新日鐵住金（株） |
| 部会員：山崎 和宣 | 五洋建設（株） |
| 木村 竜也 | 東京都 |
| 梅木 重光 | （株）酒田港リサイクル産業センター |
| 紫牟田 和隆 | 光和精鉱（株） |
| 新谷 聡 | りんかい日産建設（株） |

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####

リサイクルポートセミナーを開催

平成 28 年 1 月 15 日（金）、第一ホテル東京シーフォートにおいて、「平成 27 年度リサイクルポートセミナー」を開催しました。

今回は「リサイクルポート推進協議会活動を取り巻く最新話題について」をテーマに、約 100 名の皆様にご参集いただきました。



会場の様子

開会にあたり、国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長の中原正顕様よりご挨拶をいただいた後、次のような講演をしていただきました。

まず基調講演として、「リサイクルガイドラインの改訂について～港湾・空港等整備における循環資源の利用促進～」と題して、東京理科大学理工学部土木工学科教授の菊池喜昭様にご講演いただきました。昨年 12 月に公表されました「サイクルガイドライン（改訂）」の概要のほか、港湾・空港用リサイクル材料の環境安全品質の考え方についてご説明いただきました。

続いて、「循環資源の海上輸送の現状について」と題して、コンテナを活用した静脈物流の海上輸送拡大のための調査検討会委員／共立輸送関東株式会社顧問の村上直美様にご講演いただきました。循環資源の海上輸送実績の推移や特徴についてのご説明や、循環資源の広域利用に欠かせない海上輸送との結節点としての港湾の重要性についてもお話しいただきました。

次に、「中国と連携した国際循環について」と題して、株式会社リーテム サステナビリティ・ソリューション部副部長／早稲田環境総合センター招聘研究員の小林均様にご講演いただきました。日本企業による中国における 3R 事業分野の環境インフラ展開や中国における環境インフラビジネスの展望と国際循環の展望などについてご説明いただき、事業展開のポイントやイメージについてお話しいただきました。

最後に、「災害廃棄物処理ネットワーク（D. Waste-Net）について」と題して、環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策本部 廃棄物対策課 課長補佐の大塚直樹様にご講演いただきました。過去に発生した主な災害と発生廃棄物量等を例に、災害廃棄物対策の重要性や取組みについてご説明いただきました。

参加者の方からは、「循環資源に関する現状や課題を聞くことができ大変参考になった。」等の声が寄せられました。

講演後には交流会も開催され、活発な意見交換がなされました。ご来場いただきました皆様にはあらためて御礼申し上げます。



東京理科大学工学部土木工学科 菊池教授 講演



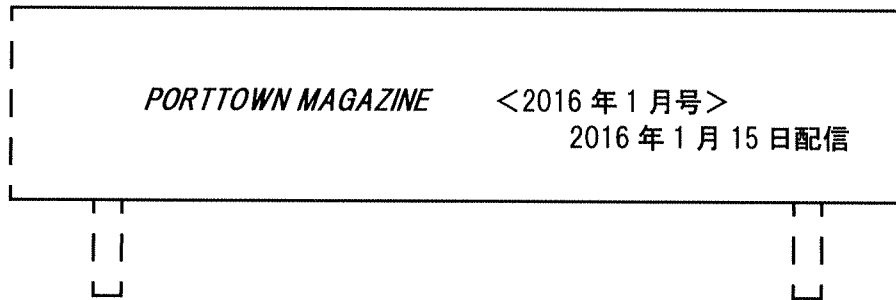
コンテナを活用した静脈物流の海上輸送拡大のための調査検討会 村上委員 講演



株式会社リーテム サステナビリティ・ソリューション部 小林副部長 講演



環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策本部廃棄物対策課 大塚課長補佐 講演



新年あけましておめでとうございます。

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。本年もよろしくお願いたします。今年も日本海側リサイクルポート、能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。

それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

////// I N D E X //////////////////////////////////////

① 能代港ニュース

- ・ 豪華客船「飛鳥II」&「ばしふいっくびいなす」能代港に寄港決定!!
- ・ 能代七夕「天空の不夜城」東京ドームに1月8日よりお目見え

② 酒田港ニュース

- ・ 紙おむつ好調 酒田港コンテナヤード拡張へ
- ・ 第29回酒田日本海寒鰯まつり開催!!
(平成28年1月23日(土)・24日(日))

③ 姫川港ニュース

- ・ 新潟、糸魚川荒波あんこうフェア開催!
(平成28年1月16日~3月31日)

④ 境港ニュース

- ・ 第13回カニ感謝祭!! (平成28年1月17日)
- ・

⑤ 編集後記

■ 能代港ニュース

○ 豪華客船「飛鳥Ⅱ」&「ぱしふいつくびいなす」能代港に寄港決定!!

6月20日(月)に豪華客船「飛鳥Ⅱ」が能代港に寄港することが決定しました。6月5日～7月7日の「日本一周グランドクルーズ」での寄港となります。世界遺産白神山地や五能線の旅など、様々なオプションツアーで、この能代山本地域の美しい自然を楽しんでいただければと思います。

また、9月10日(土)11日には、豪華客船「ぱしふいつくびいなす」が能代港に寄港することが決定しました。8月29日～9月28日の「30日間日本列島一周クルーズ」での寄港となります。おなごりフェスティバルを観覧する予定となっています。

おなごりフェスティバルは、「夏祭りを見ながら、行く夏を惜しむ」というコンセプトのもと「能代七夕」「秋田竿灯」「青森ねぶた」「盛岡さんさ」など東北の有名な祭りに加え、「浅草カーニバル」など有名な祭りが一同に集まり華麗な競演が楽しめるパレードです。

年も明けたばかりで、少しばかり先の事となりますが、9月10日、ぜひ能代港にお越しください♪

今年は、これまでになく能代港にクルーズ船が寄港します。この寄港が地域の活性化につながるよう取り組んでいきたいと考えています。

○ 能代七夕「天空の不夜城」東京ドームに1月8日よりお目見え

秋田県能代市の能代七夕「天空の不夜城」が8日、東京都文京区の東京ドームに登場した。高さ約24メートルの城郭方の灯籠(とうろう)で、東京でのお目見えは初めて。きらびやかな威容で観客を魅了した。

能代七夕のために毎年、帰郷する人もおり、首都圏の能代出身者は「東京で見られるなんて」と感激していた。

■ 酒田港ニュース

○ 紙おむつ好調 酒田港コンテナヤード拡張へ

山形県は、酒田港(酒田市)高砂埠頭(ふとう)のコンテナヤードを拡張する計画を進めている。港に隣接する花王酒田工場の、紙おむつなどの中国への輸出が好調で、国際コンテナの取扱量が急増し、今後も拡大が見込まれるため、コンテナ荷捌き場のスペースを確保する。

県空港港湾課によると、現ヤード西隣の埋立地を整備し、拡張する。現在、基本設計中であり、拡張面積の算定、現ヤードを含めた効率的な荷役設備の配置計画などを固め、今年から工事を始めて2017年秋頃までに整備を完了する計画。

地元紙によると、花王は2016年秋をめどに、酒田港に大規模な紙おむつなどの製造工場を

新たに増設する予定という。

- ・第29回酒田日本海寒鱈まつり開催！（平成28年1月23日（土）・24日（日））

酒田の冬の風物詩、今年もやります！！

日本海の冬の味覚「寒鱈」を、身も骨も内臓も余すところなく大鍋に入れ、味噌仕立てにして豪快に煮たあつあつの「寒鱈汁」を雪のちらつく屋外で堪能するまつりです。また、中通り商店街では昨年度もご好評いただきました秋田きりたんぼ鍋の販売や地元特産品の販売も行います。詳細は酒田市役所 HP まで

<http://www.city.sakata.lg.jp/ou/shoko/kankoshinko/kankokoryu/kandaramatsuri.html>

■ 姫川港ニュース

- 新潟、糸魚川荒波あんこうフェア開催！（平成28年1月16日～3月31日）

新潟県の西端にある糸魚川市は、7つの漁港からの海の恵みが豊かな土地です。冬の名物といえば、「荒波あんこう」。この「荒波あんこう」を求めて全国から食通達が集まります。飲食店や宿でお得に食べられる「糸魚川荒波あんこうフェア」と3日間限定の「糸魚川荒波あんこう祭り」が開催！！詳細は糸魚川観光協会ホームページまで

<http://www.jalan.net/jalan/doc/news/button/0524600401/>

■ 境港ニュース

- 第13回カニ感謝祭（平成28年1月17日）

平成28年1月17日（日）、毎年恒例となりました境港の水産三大祭の一つである第12回カニ感謝祭が開催されます。

水木しげる記念館から妖怪神社までリヤカーいっぱいのカニを積んで、鬼太郎たちと一緒にパレードし、奉納します。

パレード参加者（先着300名）にはカニをプレゼント！

会場では、芸能披露やカニ汁の無料ふるまいも行われます。

また、市内3直売施設（境港水産物直売センター、大漁市場なかうら、境港さかなセンター）ではカニ汁のふるまいも行われ、盛り沢山な内容となっています。

皆様是非ご参加ください！！

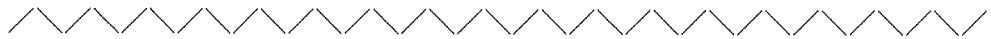
境港観光協会 HP もご覧ください

http://www.sakaiminato.net/site2/page/sakana_news/2016KANIKANSHASAI/

■ 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

2016年もお皆さんのお役に立てる情報や楽しい情報をお伝えしていけたらと思います。改めてよろしくお願いいたします。INDEXを見ると日本海側の冬は美味しいものが満載でお腹がなります、いやいや、楽しみですね。酒田市は例年になく雪の少なさで、この時期の朝の日課「雪かき」をしなくて助かりますが、何やら淋しい気持ちもあるのです。このまま春へと・・・そううまくはいきませんが少しでも落ち着いた冬の朝が過ごせますよに。それでは、次回のPORTTOWN MAGAZINEをお楽しみに。



PORTTOWN MAGAZINE

配信日 毎月 15 日



発行元

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター 担当：齋藤

〒998-0005 山形県酒田市宮海字南浜 1 番地 50

TEL:0234-31-7117 FAX:0234-33-2600

MAIL:norio@sakataport.co.jp

HP:http://www.shonai-recycle.jp/

< 情報提供 >

能代市商工港湾課、NPO 法人能代観光協会

糸魚川市商工農林水産課、糸魚川市観光協会

境港管理組合、境港市観光協会

